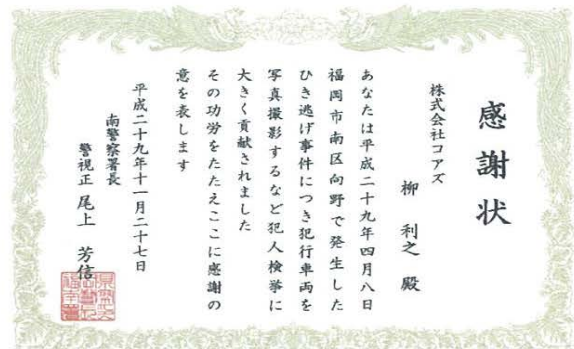
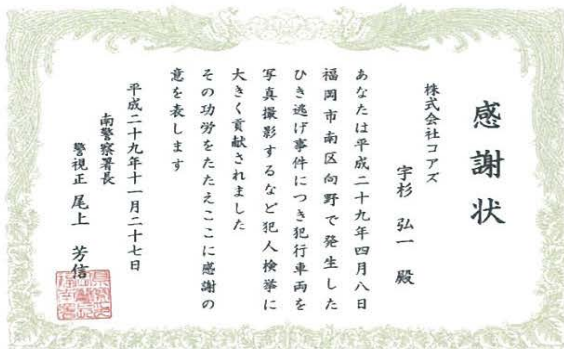


署長室で感謝状受賞



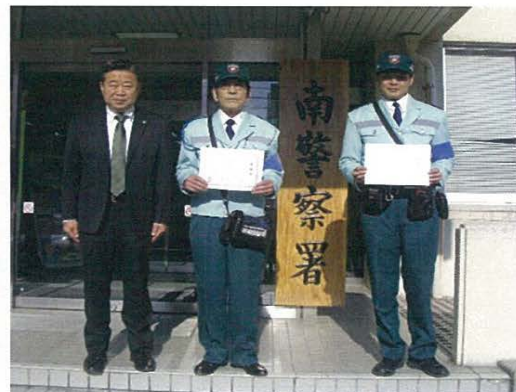
宇杉 監視員



柳 監視員



署長、副署長等と集合写真



署前で近藤本部長と



(左2人目から右に) コアズ九州事業本部・近藤光正本部長、尾上篤長、柳氏、宇杉氏(コアズ提供)

コアズ(名古屋市、小塚壽城社長)の九州事業本部(福岡市)に勤務する駐車監視員2人が、ひき逃げ事件の犯人車両を撮影して犯人検挙に貢献し、11月27日に福岡県警南警察署長から感謝状を贈られた。

お手柄の2人は、柳利之氏(1)と宇杉弘一氏(45)。宇杉氏は昨年、オートバイの盗難事件で捜査に協力した功勞により同署長から感謝状を贈られており、今回で2度目となった。

4月8日、福岡市南区内で駐車監視の業務を行っていた柳氏と宇杉氏は、雨の中、赤い高級外車の男性運転者と小学生の男子児童が

コアズの駐車監視員、「怪しい車」を撮影

道路上で会話しているのを見た。車両は道路中央に停車して運転者は降りている。児童は自転車を通じて不安そうな表情で男性を見上げていた。両氏はとっさに「交通事故ではないか」と判断して携帯電話のカメラで撮影、同署に情報提供した。

その後、児童の保護者から届け出があり、ひき逃げであったことが判明。撮影された画像には、犯人と車のナンバーが鮮明に写っていた。この画像が決め手となって犯人はひき逃げ、感謝状

人は自供した。児童は軽傷だった。同署の尾上芳信署長は「事件解決に大きく貢献した」と功勞を讃えて、感謝状を手渡した。柳氏と宇杉氏は「感謝状をいただくことは大変うれしく、業務の励みになります」と語った。両氏には、すでに社長賞が贈られている。

◇駐車監視員 国家公安委員会規則で定められた審査に合格して「駐車監視員資格」を取得した人で、警察署長から取り締まりの一部(確認事務)の委託を受けた法人に所属する。放物車両を確認し、警察への連絡を呼び掛ける「確認標章」の取り付けなどを行う。